

障がい当事者部会 報告書

会議名	第2回 障がい当事者部会		
開催日時	令和7年1月29日(水) 10時00分～12時00分		
開催場所	板橋区立グリーンホール 1階ホール		
出席者数	7名(代理1名、欠席2名)	傍聴者数	3名

報告事項(2件)

議題名	令和6年度の地域生活支援拠点等の整備状況について
概要	・令和6年度における地域生活支援拠点等の整備状況について報告。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後、どこにも相談できない当事者もいると思う。当事者がどこに相談すれば良いか、当事者が行動できる分かりやすいシステムになってほしい。 ・8050問題との密接な結び付きがあるので、高齢分野との連携を密接にしてもらいたい。 →基幹相談支援センターでは、介護と医療のネットワークの協議の場に参加する等、高齢分野との連携の糸口を少しずつ広げている。引き続き高齢分野との連携に取り組んでいく。 ・様々な障がい種別があり、重複障がい者もいる中で、緊急時にそういった障がいのある人たちが受け入れてもらえる体制の構築をお願いしたい。 →地域資源を活用し、地域生活支援拠点等の整備・充実させていきたい。

議題名	第9期 障がい当事者部会の活動報告
概要	・令和5～6年度、当部会で行ってきた活動をまとめ、報告。
主な意見・回答	意見なし

協議事項(1件)

議題名	ライフステージごとの支援に関する年表作成について
概要	・年表作成で感じたこと、障がい種別ごとの特徴などの意見交換。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> ・年表の作成は大変だったが、目に見える形で、様々な障がい種別のライフステージごとの支援や苦勞について知ることができて良かった。 ・重複障がいになる場合もあるので、ほかの障がい種別でライフステージごとにどのような支援があるか知ることができるツールとしてとても有効だと思う。 ・各障がい種別で共通する部分もあるので、お互い参考にしながら年表を作り込んでいけたら良いと思う。 ・他部会とも連携してもらい、漏れなく障がい者に情報を伝えられるツールとして周知・活用してもらいたい。 ・年表に色々な地域資源を記載しても、実際利用を希望したとき本当に利用できるものばかりではないように感じる。どのような地域資源があるか知ってもらうことはできるが、その地域資源を利用したいとき利用できる状況であってほしい。 ・精神障がいの場合、引きこもり等でライフステージに応じた支援がはまらない場合も多い。ライフステージというより、こういう場合こうする、という表のほうが作りや

	すいかもしれない。 →年表のレイアウトや区切り方については、障がい種別によって最適解が異なると思うので見直していきたい。
今後の方向性	他部会とも連携し、今後も年表の作成を進めつつ、障がいの相互理解に繋げていく。